

2016年5月30日

【ニュートラシューティカルズ関連事業】自治体との連携に関するお知らせ

大塚製薬 健康に関する連携協定を秋田県と締結

- 大塚製薬は、生涯にわたって心豊かに生活できる『健康長寿あきた』の実現を目指す秋田県と5月27日に協定を締結
- 食生活や生活習慣病リスクなど県民の抱える課題に、当社が持つ「生活習慣病予防」「食育」「熱中症対策」などの知見やノウハウを活かして健康づくりに取り組むことで、地域の一層の活性化、県民の健康増進・維持および県民サービスの向上に寄与

大塚製薬株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:樋口達夫)は、地域の一層の活性化、県民の健康増進・維持および県民サービスの向上を図ることを目的に秋田県と連携協定を締結し、5月27日に協定書に調印しました。

大塚製薬は、生命関連企業として、各自治体と連携し人々の健康増進・維持に貢献すべく活動しています。2015年6月には先行して、「生涯スポーツ社会」の実現を目指す秋田市とスポーツ振興に関する協定を締結し、各種スポーツを通じた健康づくりに取り組んできました。



秋田県庁で行われた協定書締結式の様子

写真 中央:佐竹 敬久 秋田県知事
左:山崎 正三 大塚製薬株執行役員
右:吉川 佳克 大塚製薬株仙台支店・支店長

このたび、当社のこれまでの取り組みが評価され、『第2期健康秋田21計画』^{*1}において健康寿命延伸の実現を掲げる秋田県と、健康増進・維持のための連携協定を締結しました。

秋田県では県民の生活習慣病のリスク保有率は全国トップクラス^{*2}となっている中、県民の食生活に対する意識調査において、男女ともに半数以上の方が「栄養バランスが悪い」「塩分が濃い」などの食生活について問題意識を持っています^{*3}。県はさまざまな民間事業者などと連携し、健康増進・維持のため地域の活性化と県民サービスの向上への取り組みを推進しています。

このたびの締結により、大塚製薬は当社のもつ「生活習慣病予防」「食育」「熱中症対策」などの知見やノウハウを活かし、科学的根拠に基づく健康情報や製品を提供することで、さらなる県民の健康管理・維持に貢献していきます。

本協定では、下記に掲げる事項について取り組みます。

- (1) 生活習慣改善に関する事
- (2) 食を通じた健康づくりに関する事
- (3) 熱中症予防に関する事
- (4) その他県民サービスの向上、地域社会の活性化に関する事

大塚製薬は、今後も Otsuka-people creating new products for better health worldwide の企業理念のもと、人々の健康維持増進に貢献してまいります。

*1 <http://www.pref.akita.lg.jp/www/contents/1209185565899/index.html>

*2 出典:協会けんぽ(全国健康保険協会)秋田支部平成 25 年度生活習慣病予防検診データより

*3 県民健康・栄養調査結果 <http://www.pref.akita.lg.jp/www/contents/1359699579087/index.html>

【参考】

当社と都道府県との連携協定は、今回の秋田県を含めて全国で 19 都府県となります。

締結済:神奈川県、佐賀県、埼玉県、福岡県、滋賀県、岩手県、徳島県、青森県、岡山県、石川県、広島県、兵庫県、東京都、三重県、鹿児島県、大阪府、長崎県、福島県